

議会だより

にしあいづ

No.126

2014.7.22

発行：福島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



■6月議会定例会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～4

○美しく 安全安心な 西会津町へ

生活環境に関する2つの条例を制定・・・・・・・・・・・・2～3

○補正予算、監査委員選任の同意、陳情・請願審査・・・・・・・・4

■ここが聞きたい！一般質問 7人が登壇・・・・・・・・・・・・5

■町民のみなさん お話ししましょう・・・・・・・・・・・・10～11

■奥川健康マラソン大会実行委員長 三瓶純一さんにインタビュー・・12

きれいなお花が咲いているよ！（野沢保育所児童散歩）



美しく安全安心な西会津町へ

生活環境に関する2つの条例を制定

6月議会 定例会

ポイ捨て・犬のフンの放置はやめましょう

快適環境づくり条例を制定

平成26年6月議会定例会を6月6日から12日まで、7日間の会期で開きました。
提出された議案は、快適環境づくり条例や空き家等の適正管理に関する条例などの条例の制定や一部改正、一般会計等補正予算や監査委員の選任同意など7件で、全ての議案を全員賛成で原案のとおり可決しました。
一般質問では、議員7人が登壇し、町の考えや対応を問いただしました。

行するのか。

町民税務課長

例えば、ジュースの自動販売機の設置場所に空き缶等の回収容器の設置義務を怠り、町が指導、助言をしても実行しなかった場合などには、過料を科すことになる。

伊藤一男議員

必要と認める場合、重点区域を指定することができるとあるが、どのような場所を重点区域と考えているのか。

町民税務課長

さゆり公園や観光地など、人の集まる場所や自治区等でよくゴミが捨て

られている場所が、重点区域として想定される。

猪俣常三議員

ポイ捨て等を見つけた場合の情報提供は、どのようにすればよいのか。

町民税務課長

例えば子どもがポイ捨てをした場合は注意をするのはもちろんであるが、ゴミが捨てられているような場所を見つけたら、町に連絡をいただきたい。

長谷沼清吉議員

粗大ゴミなどの不法投棄対策はどのようにしているか。
また条例が制定された

【質疑】

多賀剛議員

過料を科すという条項があるが、どのように実

場合に、クリーン推進員との関わりはどうなるか。

町民税務課長

県から委嘱を受けた不法投棄監視員が町内を巡回しているほか、緊急雇用対策基金事業により、不法投棄されたゴミの撤去作業を行っている。

クリーン推進員のみならずには、条例の内容を説明し、協力をお願いする。

清野佐一議員
この条例は、ゴミなど



犬のフンの後始末は飼い主の責任です

が無い町づくりのために、町民のみなさんにいかに守ってもらうかが大切である。家庭や学校などを通じて、幅広い周知の徹底を図ることが必要と思うが、周知方法は。

町民税務課長

この条例は周知が大変重要であることから、周知の方法はたくさんあるが、町民のみなさん内容がわかっていただけような周知方法を検討しながらやっていきたい。

空き家は所有者が適切に管理しましょう

空き家等の適正管理に関する条例を制定

管理不全により町民の

みなさんの生命や身体、財産に危険を及ぼす可能性のある空き家等に対処するため、倒壊等の事故や犯罪、火災等を未然に防止することにより、安全で安心な町づくりを推進することを目的に空き家等の適正管理に関する条例を制定しました。

【質疑】

長谷沼清吉議員

空き家について、住宅以外の土蔵や作業小屋の軒数は把握しているか。また、相続放棄者への対応はどうなるのか。

町民税務課長

空き家は、住宅が約200軒であるが、その他の土蔵や作業小屋などの軒数は把握していない。条例制定後に調査する。相続放棄者への対応は、相続放棄をしても管理義務や損害賠償責任はあるので説明をしていく。

多賀剛議員

空き家でなくても、危険な状態にある家屋も、この条例で対応するのか。

町民税務課長

この条例は、空き家に対する条例であるので、この条例による対応はできない。空き家以外の危険家屋については、他の方法で対処する。

渡部憲議員

空き家や土地を自治区に寄附をする場合、登記などの費用はどうするか。

町民税務課長

所有者と自治区の両者による話し合いで決めることになる。

伊藤一男議員

このような内容の条例は、会津管内の市町村で、どのくらい制定されているのか。条例制定により事務量が

が増えると思うが、現在の職員で対応できるのか。

町民税務課長

会津管内では、南会津町、会津美里町に次いで3番目の制定となる。職員体制は、指導助言など不透明な部分もあり、実際にやってみてから対応する。

今年度の国保税率が決まりました

地方税法の改正および町国保税の税率の変更に より国民健康保険税条例を改正しました。

国保税率

区分		平成26年度	平成25年度
医療分	所得割	5.64%	5.49%
	資産割	16.20%	22.60%
	均等割	21,000円	21,500円
	平等割	16,400円	17,100円
介護分	所得割	2.50%	2.13%
	資産割	10.50%	12.30%
	均等割	12,600円	11,000円
	平等割	6,700円	6,000円
支援分 (後期高齢者)	所得割	2.32%	2.20%
	資産割	6.70%	9.20%
	均等割	8,700円	8,700円
	平等割	6,800円	7,000円

社会保障・税番号背制度の導入に向けシステム改修費などを増額

一般会計補正予算5213万9千円を増額

今次の一般会計の補正

予算は、社会保障・税番号制度の導入に伴うシステム改修費、徳沢自治区の集会所新築や野沢地区克雪活動実行委員会が購入する除雪機械へのコミュニティ育成事業補助、県道上郷下野尻線・上野尻地内の消雪施設整備に伴う埋蔵文化財発掘経費などを新規に計上しました。併せて有害鳥獣捕獲報償金や西会津中学校の空調設備設置工事費などの追加計上により、総額5213万9千円を増額補正しました。

なるのか。

また、本発掘の経費も県から支出されるのか。

教育課長

埋蔵文化財の試掘の経費は、当該市町村で支出することになっている。

試掘により遺物が出れば本発掘となり、事業者の負担、県道工事にかかるとのものであるので、喜多方建設事務所の負担となる。

なお、今次の補正の金額は、試掘と本発掘の経費を合わせた金額で計上している。

五十嵐忠比古議員

コミュニティ育成事業補助金の補助率は。

企画情報課長

徳沢自治区の集会所新築の補助は、補助率が60パーセントである。

野沢地区克雪実行委員会の除雪機購入の補助は、全額補助金として入ってくる。

伊藤一男議員

中学校の空調設備設置工事費について、当初予算で1683万2千円が計上されており、今次補正で1850万9千円増額されているのはなぜか。

教育課長

当初は店舗や事務所等に付いているような後付けエアコンで設計していたが、学校の場合は常にエアコンをつけているわけではないので、天井に設置するタイプで出力の

大きなエアコンに設計を変更したため、大きな増額になった。

その他可決した議案

国の税制改正による税条例の一部改正です。水道事業会計補正予算営業費用の受託工事費100万円、資本的支出の工事請負費700万円を増額しました。

監査委員の選任に同意

前任者の辞職により空席となっていた監査委員の任命について、齋藤哲夫さんの選任に全会一致で同意しました。



齋藤 哲夫さん
(森野)

請願陳情

6月議会定例会には、

各団体や自治区などから請願3件と陳情1件が提出されました。

提出された請願・陳情は各常任委員会に付託され、委員会で慎重に審議をしました。

提出された請願・陳情 (敬称略)

■「手話言語法制定を求める意見書」提出を求めると請願書

請願者 社団法人福島県聴覚障害者協会会長 吉田正勝、福島県手話サークル連絡協議会会長 佐藤政昭、福島県手話通訳問題研究会会長 清水久美子
紹介議員 清野佐一
【審議結果】採択

■集团的自衛権の行使容認に反対する意見書提出を求める請願
請願者 会津地方労働組

合総連合議長代行 池田雄次郎
紹介議員 鈴木満子
【審議結果】継続審査(調査が必要なため)

■小綱木寺線の改良工事に関する請願書
請願者 小綱木自治区長 宮沢吉夫
紹介議員 荒海清隆
【審議結果】継続審査(現地調査が必要なため)

■向原・村中線の改良工事に係る陳情書
陳情者 向原自治区長 杉本正充

【審議結果】継続審査(現地調査が必要なため)

提出した意見書

提出された請願や陳情について、審議の結果、採択となった請願・陳情については、国などの関係機関に意見書を提出しました。

■「手話言語法」制定を求める意見書
提出先 内閣総理大臣

町政のここが聞きたい 議員は問う 7人が登壇



こんな質問をしました（質問順）

- 猪俣 常三 議員（8ページ） ①災害に強い町づくりの取り組みについて
- 三留 正義 議員（8ページ） ①農業振興地域について
②街路灯や防犯灯のLED化について
- 渡部 憲 議員（6ページ） ①下小屋地内の町道改良工事について
②本町の今後のキノコ栽培について
- 長谷川義雄 議員（7ページ） ①西会津町商業団地の整備について
②ゴミ対策について
- 多賀 剛 議員（6ページ） ①教育行政方針について（教育長の所信を伺う）
②Iターン・Uターン・定住人口の増加対策について
③個人情報の管理について
- 青木 照夫 議員（7ページ） ①快適環境づくりについて
②温水プールについて
③地方移住型特養施設について
- 清野 佐一 議員（9ページ） ①副町長の人事について
②指定管理者制度について
③町政への取り組みについて

問 安価に居住できる施設を整備する考えは

答 町有施設等の活用で検討していきたい

問 各種の地域おこし事業やイベントにより、交流人口は増加傾向にあるが、定住にいたる方はまだ少ない。

①空き家等を利用し、一定期間安価に居住できるゲストハウスやシェアハウスを整備する考えは。
②町内在住の若者の流出を防ぐために、青年団組織のようなものの再構築が必要と考える。組織育成の支援ができないか。

町長 ①交流人口拡大に向け、空き家や町所有施設等を活用し、宿泊施設の整備を検討していきたい。

②若者の育成や集いの場として、若者まちづくりプロジェクト会議を平成22年度に創設した。今後、参加者などからの自主的な組織の立ち上げなどを支援をしていきたい。

問 教育行政方針につ

多賀剛 議員



若者が集える場の提供を

いて、教育長の所信と学校教育、社会教育それぞれの課題と対策を問う。

教育長

教育基本法に示される理念、教育の目的等をふまえ、町および教育委員会の教育目標を実現して

いくよう、全身全霊を傾け取り組んでいく。学校教育は、施設一体型の小中連携教育を効果的に、より具体的に進める。社会教育は、生涯学習の推進と伝統文化の継承等に努めていく。

問 原木キノコ栽培の今後の見通しは

答 本年度から広葉樹林再生事業に取り組む

渡部憲 議員

問 本町のキノコの原木栽培は、今後どうなるのか。

また菌床栽培の取り組みも併せて問う。

農林振興課長

現在、町内では6戸の生産者が原木栽培に取り組んでいるが、一部地区で放射能濃度が基準値を超える原木があったこと



キノコの原木栽培の復旧・復興を

から規模を縮小している生産者もあり、町では広葉樹林再生事業を本年度から取り組み、町内産の原木を将来にわたって使用できるように取り組んでいく。

線路わきの町道下小屋1号線は、道路幅員が狭く急なカーブで、冬の除雪や通行が困難である。道路管理者として早急に対処すべきではないか。

建設水道課長

また菌床栽培の取り組みは、若者を中心に増加しており、パイプハウスのリース事業や初期投資の軽減を図る支援を実施していく。

問 下小屋地内のJR

町道下小屋1号線は、地域の方々が利用する生活道路であり、家屋移転を含めた道路用地の確保など、地域の方々の要望をふまえ、合意形成を含めた検討を行っていきたい。

問 ゴミ処分費の縮減は

答 分別とリサイクルの推進で減量化を図る

長谷川 義 雄 議員

問 町が行っているゴミ収集、運搬、処分費が増加しているが、その要因は何か。今後の見直しと対応策を問う。

町民税務課長

平成21年度に空き缶、

ペットボトル、紙パック

の収集回数を増やし、委

託料が前年度より約40万

円増額となったが、それ



ゴミの分別・減量化で経費の削減を

以降は同額で予算計上して

きた。本年度は4月から

消費税が8パーセント

となったことにより、92

万5千円の増額になった。

今後、さらなるゴミの

分別とリサイクルの推進

に取り組み、ゴミの減量

化を図っていく。

問 現在、道の駅に工事中の自動車用急速充電器は、いつ頃から利用で

きるのか。

商工観光課長

当初予定していた急速

充電器が生産中止となっ

たため、新たに課金シス

テムを搭載した機種に変

更したことで、高圧受変電

設備の変圧器の規格が変

更になったことなどから、

平成25年度内での工事が

見込めず繰越事業とした。

8月中旬までには、利

用できるようにしたい。

問 野沢地区都市再生整備事業の進捗状況は

答 平成28年度までの4年間で実施する

問 野沢原町ポケット

パークおよび野沢駅通り

公園事業など、野沢地区

都市再生整備事業の進捗

状況は。

企画情報課長

原町ポケットパーク整

備事業は、本年度に建物

撤去補償や用地取得、実

施設計業務を計画してお

り、居住者の方と協議を

進めている段階である。

野沢駅通り公園整備事

業は、平成27年度に実施

設計、平成28年度に公園

整備工事を予定している。

公園に付帯して実施する

町道上原中央線新設事業

についても、28年度に整

備を計画していることか

ら、27年度には用地取得

などの作業を終えたいと

考えている。

実施設計を行う際には、

地域のみなさんと十分な

意見交換を行い、地域の

みなさんの声を反映させ

たい。

青木 照夫 議員



ふるさと自慢館を拠点にまちなかの活性化を

問 地方移住型特養施設を導入すれば雇用の確保などが図られ、第6期介護保険事業計画および福祉計画での有効策と考

建設水道課長

地方移住型特養施設に

ついては課題も多く、現

在のところ国からの支援

も限定的であるので、今

後介護保険制度の改正や

国の動きを注視していく。

問 街路灯LED化の新たな取り組みとは

答 商店街まちづくり事業を活用し進める

問 町が整備した街路灯について、新たな対策とはどのような内容か。

企画情報課長

町が平成14年度に商店街振興を目的に整備を図った街路灯については、町が費用負担をしてLED化の事業に取り組みとの支援策を決定した。今

三 留 正 義 議員

次、中小企業庁所管の補助事業の商店街まちづくり事業を導入し、工事費の3分の2が補助される。事業費は1450万円程度を想定しており、国からの補助金を除く残額の

約600万円を町が事業補助金として商工会に交付していくこととなる。

問 西会津農業振興地域整備計画の見直しの考えはないか。

農林振興課長

農業振興地域整備計画は、概ね10年間の農業で利用すべき土地と施策について計画することとされており、本町の計画は平成16年に見直しを行っている。本年が10年目になることから、今年度、総合的に見直しを行うこととしている。将来にわたる農地利用の意向を確認することが重要で、今年度は町内農家のみなさんに今後の農業の経営の方向や農地利用についてアンケートを実施する予定である。

LED化で電気料の削減を



問 釜の脇スノーシェッド付近のトンネル化は

答 現在のところ詳細は未定である

猪 俣 常 三 議員

問 新潟・福島豪雨により阿賀川が増水し、尾登地内の県道喜多方・西会津線釜の脇スノーシェッド内が冠水し、道路下が洗掘され通行不能となる災害が発生した。

問 新潟・福島豪雨により阿賀川が増水し、尾登地内の県道喜多方・西会津線釜の脇スノーシェッド内が冠水し、道路下が洗掘され通行不能となる災害が発生した。

建設水道課長

県でも、県道喜多方・西会津線が主要地方道に指定される重要な幹線道路であり、寸断された場合、社会生活に大きな影響を与える路線であることから、釜の脇スノーシェッド付近のトンネル化を計画している。しかし、当該地区は河川とJR磐越西線に挟まれた箇所であり、計画についてはJRとの協議が必要不可欠であり、現在のところ詳細は未定である。



トンネル化が求められる釜の脇スノーシェッド

問 副町長の人事はどうなっているのか

答 できるだけ早い機会に

清野 佐一 議員



不在が続く議場の副町長席

問 3月31日で藤城前副町長が県に戻られて以来、今日まで2カ月間副町長不在という状況が続いている。

町長は、現状をどのようにとらえているのか。また、いつ頃までに副町長を迎えるつもりか。

町長 副町長は、事務方の

トップとして職員を指揮し、事務事業全般を総括する重要な職責を担うものであると認識している。人事については、できるだけ早い機会に選任していきたい。

問 指定管理者制度で、公の施設を円滑に管理運営していくためには、指定をする者と指定を受ける者の両者の信頼関係が必要不可欠と思われるが、町の基本的な考えを問う。

総務課長 指定管理者制度は、平成18年度に導入し、公の施設の管理運営にあたり、管理運営には、町の政策との整合性を図ることが大変重要であることから、今後とも町と指定管理者の両者で定期的な話し合いを行い、事業の方向性や諸課題等について協議し、相互の信頼関係を築いていく。

問 指定管理者制度で、公の施設を円滑に管理運営していくためには、指定をする者と指定を受ける者の両者の信頼関係が必要不可欠と思われるが、町の基本的な考えを問う。

2回会 第2臨時 議臨

町消防団が民友旗を受賞

受賞記念事業実行委員会補助金の補正予算を可決

5月13日に第2回議会臨時会を開会し、町から町消防団民友旗受賞記念事業実行委員会への補助金250万4千円を増額する一般会計補正予算(第2次)と小型バス2台を取得する、2件の議案が提出され、審議の結果、いずれの議案も全員賛成で原案のとおり可決しました。

【質疑】

長谷沼清吉議員

受賞記念事業実行委員会の予算の総額と経費の内訳は。また実行委員会はどういう方々で組織されるのか。

町民税務課長

民友新聞への広告料で151万2千円、記念誌の発行で67万8千円、記念品代で15万円程度、看板等の消耗品で10万円、その他合わせて補助金の250万4千円となる。この他に実行委員会です。

附金を募り、そのお金は補助金で見込んだ経費以外に充てる。なお、祝賀会は会費で賄い、公費からは支出しない。

実行委員会の組織は、消防団本団の全幹部、各分団長、消防支援隊の隊長、副隊長、各分隊長、女性消防隊の隊長、各副隊長というような構成で考えている。

多賀剛議員

取得する2台のバスは構造や仕様等全く同じものか。

町民税務課長

2台とも全く同じ仕様である。

長谷沼清吉議員

今回のバスの取得は4



社の指名競争入札であるが、指名をする上での基本的な考え方は。

総務課長

できるだけ多くの業者に参加していただきたいが、指名参加願を提出している業者の中で、町が指定する装備等の仕様に合致する車を扱えるかどうかを確認し、扱える業者を指名し入札を行っている。

お話ししましょう

第2回議会報告会を

5地区で



新郷地区議会報告会（5月8日開催）

今回で第2回目となる議会報告会を5月7日から13日までの5日間で、町内5地区で開催しました。前回11月に開催した議会報告会同様、多くの町民のみなさんに出席をいただき、活発なご意見を拝聴することができました。

今回の議会報告会は、前回の議会報告会で「開催時間が早かったために参加しにくかったのではないか」との反省があったことから、開催時間を変更し、午後7時からの開催としました。また、町民のみなさんに、議会での審議内容などをわかりやすく説明す

町民のみなさんのための報告会に

るといふ観点から、パソコンによるパワーポイントを導入し、口述説明との連携を図りました。

結果として今回の議会報告会の参加者数は前回はを上回ることができ、一定の効果を得ることができました。

町議会としては、町民の皆さんがもっと気軽に参加できるように、内容の検証・検討をして、次回開催がより身近なものになるように取り組んでいきます。

議会報告会開催実績

5月7日(水) 奥川みらい交流館	参加者 22人
5月8日(木) 新郷連絡所	参加者 15人
5月9日(金) 保健センター	参加者 19人
5月12日(月) 林業研修センター	参加者 18人
5月13日(火) 交流物産館よりっせ	参加者 14人
5日間	5会場
	合計 88人



尾野本地区議会報告会（5月12日開催）



群馬地区議会報告会（5月9日開催）

町民のみなさん

町民のみなさんから意見・要望が寄せられました

総務常任委員会で

次の意見・要望は、総務常任委員会で調査、検討をします。

■高齢者について具体的な対策を議会として取り組んでほしい

■前回の報告会で提案した「福祉での日本一のまちづくり」をめざした福祉の充実を

■1町内でサロンが行える場所の提供を

■冬期間の資源ゴミの保管に困っているのを改善してほしい

経済常任委員会で

次の意見・要望は、経済常任委員会で調査、検討をします。

■Uターンできる環境づくりが遅れている

■地域おこし事業などには、経済常任委員が視察に来てほしい

■白坂・宝川間の倒木と落石の問題の解消を

■宝川は豪雨などで通行止めになると孤立する可能性があるので、迂回路の整備を再度検討してほしい

■新村・平明間の県道の水害時に設置した土留めの対応を

■本町地区の農道の土手が崩れているので整備してほしい

特別委員会で

次の意見・要望は議会活性化特別委員会や保育施設の運営に係る調査特別委員会で調査、検討をします。

■現在の西会津小学校では、庁舎機能を有さないのではないかと

■庁舎移転よりも保育所整備の問題を優先させるべきではないかと

町に要望を伝えます

次の意見・要望は、町民のみなさんからの意見・

要望として町に伝えます。

■廃校となったグラウンドを整備してほしい

■富士山登山口の看板整備してほしい

■橋立自治区付近の町道に穴があり、整備をお願いしたい

■白坂・宝川の春の余力除雪を従来どおり行ってもらいたい

■屋敷の町道に陥没しているところがあり、整備してほしい

■町で子どもを含めた若い人の意見が集約できる場を設けてほしい

■町道の倒木処理の対応は、どのようにするか

■通学路で暴風・防雪柵の整備が不十分なところがあるので、整備をしてほしい

■観光親善大使を早く設置・任命してほしい



野沢地区議会報告会（5月13日開催）



奥川地区議会報告会（5月7日開催）

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、6月15日に開催された奥川健康マラソン大会を盛会に終えられた実行委員長の三瓶純一さん（山浦）です。

―大会を終えられての感想を。

何事もなく無事終了できてほっとしています。スタッフのみなさんの大会を成功させようという思いと選手へのおもてなしの心のおかげです。

―大会に関わられてどのくらいになりますか。思い出の大会はありますか。

第10回大会から計時係として関わり、29年になります。第14回大会の高校生・一般男子（40歳未



実行委員長の大役を務められた三瓶純一さん

プロフィール

住所：山浦（奥川）
年齢：60歳
家族構成：妻、母、弟
趣味：べこ飼

満）10キロメートルの物江取選手の走りには感動しました。まだそのタイムは破られていません。

―開催にあたって、苦労されたことやうれしかったことは。

福島大学の学生さんのスタッフボランティアの参加やスタッフのみなさんのご理解とご協力があり、苦労は特にありませんでした。

―今後どのような大会にしたいですか。

この大会は長い歴史のある奥川の大イベントであり、誇りです。みなさんに愛され、ランナーもスタッフも一緒に楽しい大会であってほしいです。

―町や議会に望むことは。

議会報告会は大変良いと思います。行政と議会の政策の話し合いに期待します。

―ご協力ありがとうございました。今後は活躍を期待しています。

議会の動き

全国町村議会議長会主催 議長・副議長研修会に参加

5月27日、28日の2日間、全国町村議会議長会主催の「町村議会議長・副議長研修会」が東京で開催され、全国の町村議会の議長と副議長、約1600人が集まり、本町からも議長と副議長が研修に参加しました。

ある議会活性化の取り組みを行っている北海道大空町、神奈川県大磯町、長野県南箕輪村、熊本県御船町の4町村の議長によるパネルディスカッションが行われました。

初日は、まずはじめに山梨学院大学法学部政治行政学科の江藤俊昭教授による「住民と歩む地方議会」と題しての基調講演がありました。講演では、町村という小規模自治体の中の小規模議会の特徴や課題として、議員定数、議員報酬、公務活動費や事務局職員が少ないとの指摘がありました。

2日目は、「地域づくりを考える」というテーマで、民俗研究家の結城登美雄氏の講演があり、少子高齢化、過疎化など多くの課題を抱えながらも、たくましく生きている町村の紹介がありました。

講演に続いて行われたシンポジウムでは、特徴

研修会の最後に、ジャーナリストの後藤謙次氏の「日本の政治経済の現状と今後の行方」と題した政局についての講演があり、2日間の研修会は終了しました。

編集後記

6月議会も終わり、ほっとしたところです。町内の田も緑のじゅうたんとなり、食への感謝をしつつ、秋の実りを無事に迎えたいものです。食の安全は原発事故後、大きく取り上げられていますが、残念なことに国会では国の安全を守ることとして、憲法解釈と共に集団的自衛権行使が議論されています…。

さて、この議会だよりが手元に届く頃には、暑さも本格的となり、夏バテ対策を考える時期です。4月からの消費税8パーセントも家計に与える影響は大きいところですが、土用の丑の日だけでもウナギを食べて、この夏を乗り切りましょう。（長谷川義雄）